

院内がん登録集計（2017年）

1) 登録対象

○対象期間

- ・2017年1月1日～2017年12月31日

○対象となる腫瘍

- ・上記期間に、当院において初診し、診断された腫瘍
- ・他施設ですでに診断され、上記期間に治療等の対象となった腫瘍
- ・全ての部位の悪性新生物(上皮内がんを含む)
- ・髄膜・脳・脊髄および中枢神経系に発生した良性および良悪不詳の腫瘍
- ・消化管間質腫瘍(GIST)
- ・境界悪性の卵巣腫瘍の一部

2) 登録方法

- ・「院内がん登録の実施に係る指針」(厚生労働省告示第四百七十号)に基づき、
国立がん研究センターが掲示する院内がん登録標準登録様式に準拠して登録
- ・原発部位について1腫瘍1登録

3) 集計目次

[1. 部位別・性別登録件数](#)

[2. 性別・年齢階級別登録件数](#)

[3. 年齢階級別・部位別登録件数（上位7部位）](#)

[4. 部位別・発見経緯別登録件数（上位7部位）](#)

[5. 部位別・症例区分別登録件数（上位7部位）](#)

[6. 部位別・初回治療法別登録件数（上位7部位）](#)

[7. 部位別・臨床病期\(UICC\)別登録件数（5大がん+上位2部位）](#)

1. 部位別・性別登録件数

2017年の登録数は、903件でした。

多い順に、男性は大腸癌、肺癌、胃癌、女性は乳癌、大腸癌、肺癌となりました。

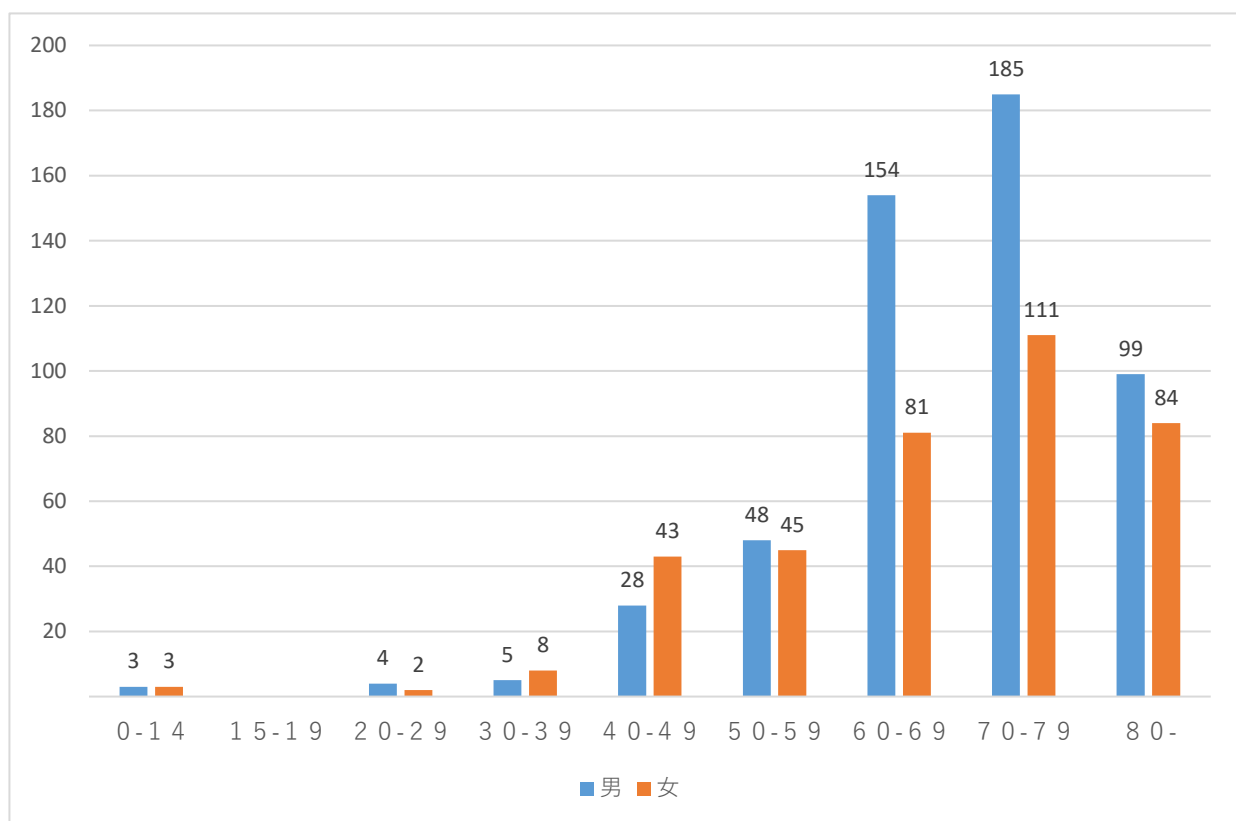
	合計	男	女
口腔・咽頭	16	14	2
食道	24	21	3
胃	92	66	26
大腸	206	125	81
肝臓	13	12	1
胆嚢・胆管	18	10	8
膵臓	31	21	10
喉頭			
肺	127	91	36
骨・軟部	2	2	
皮膚(黒色腫を含む)	7	4	3
乳房	112	1	111
子宮頸部	11		11
子宮体部	6		6
卵巣	4		4
前立腺	55	55	
膀胱	18	13	5
腎・他の尿路	15	13	2
脳・中枢神経系	28	17	11
甲状腺	5	1	4
悪性リンパ腫	46	27	19
多発性骨髄腫	13	5	8
白血病	18	11	7
他の造血器腫瘍	16	6	10
その他	20	11	9
合計	903	526	377

2. 性別・年齢階級別登録件数

年齢階級ごとの集計です。

男性・女性ともに最も登録数が多かったのは、70-79歳でした。

	0-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計
男	3		4	5	28	48	154	185	99	526
女	3		2	8	43	45	81	111	84	377

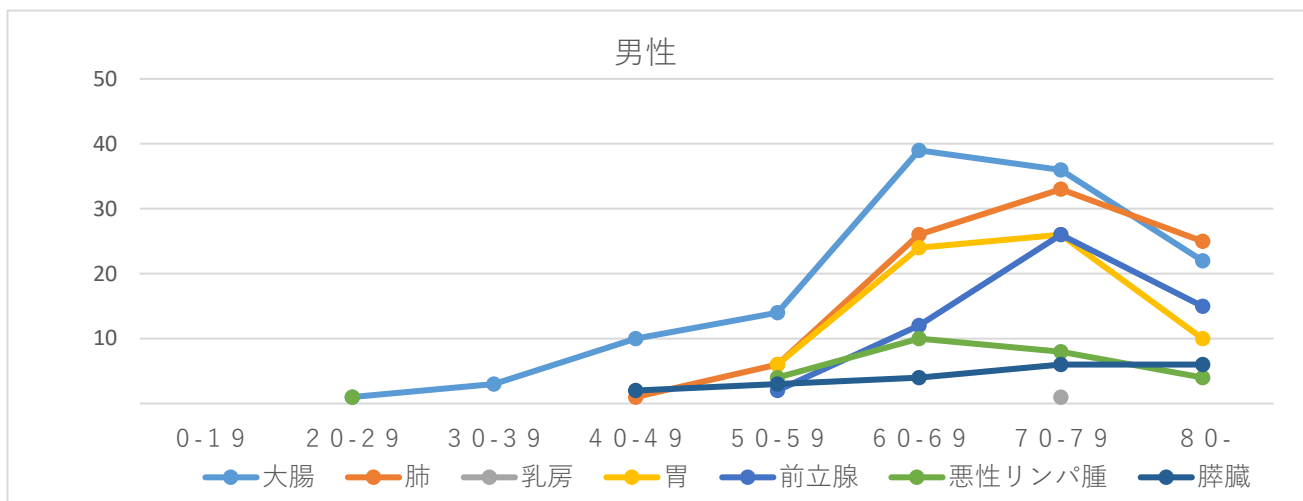


3. 年齢階級別・部位別登録件数（上位7部位）

当院で登録数が多い7部位について、年齢階級ごとの集計です。

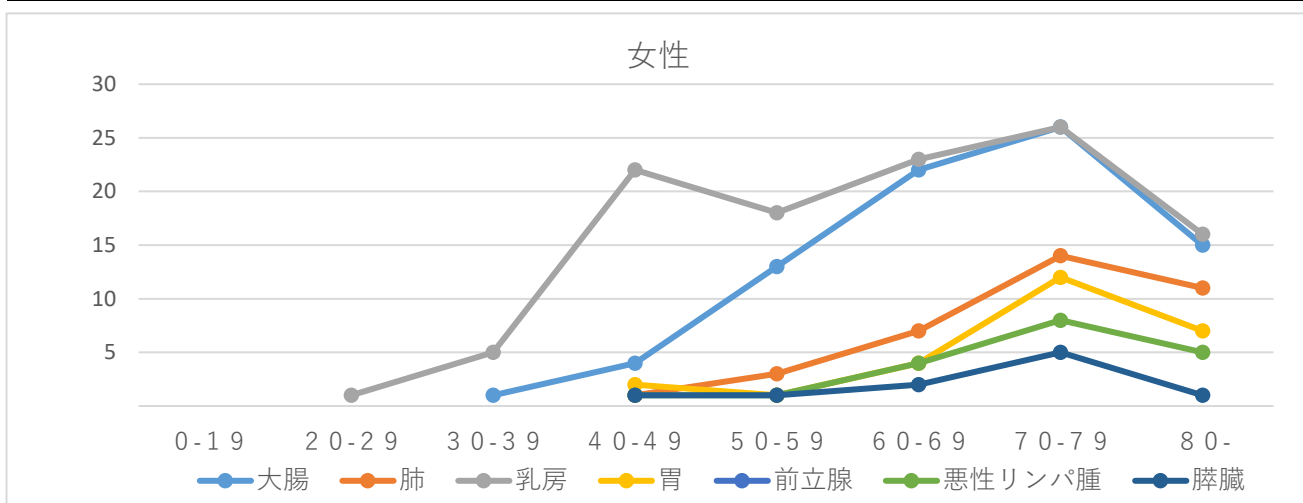
男性は、60-69歳に大腸癌・肺癌・胃癌の登録数が大幅に増えています。

男性	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計
大腸		1	3	10	14	39	36	22	125
肺				1	6	26	33	25	91
乳房							1		1
胃					6	24	26	10	66
前立腺					2	12	26	15	55
悪性リンパ腫		1			4	10	8	4	27
膵臓				2	3	4	6	6	21



女性は、40-49歳に乳癌の登録数が大幅に増えています。

女性	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計
大腸			1	4	13	22	26	15	81
肺				1	3	7	14	11	36
乳房		1	5	22	18	23	26	16	111
胃				2	1	4	12	7	26
前立腺									
悪性リンパ腫				1	1	4	8	5	19
膵臓				1	1	2	5	1	10



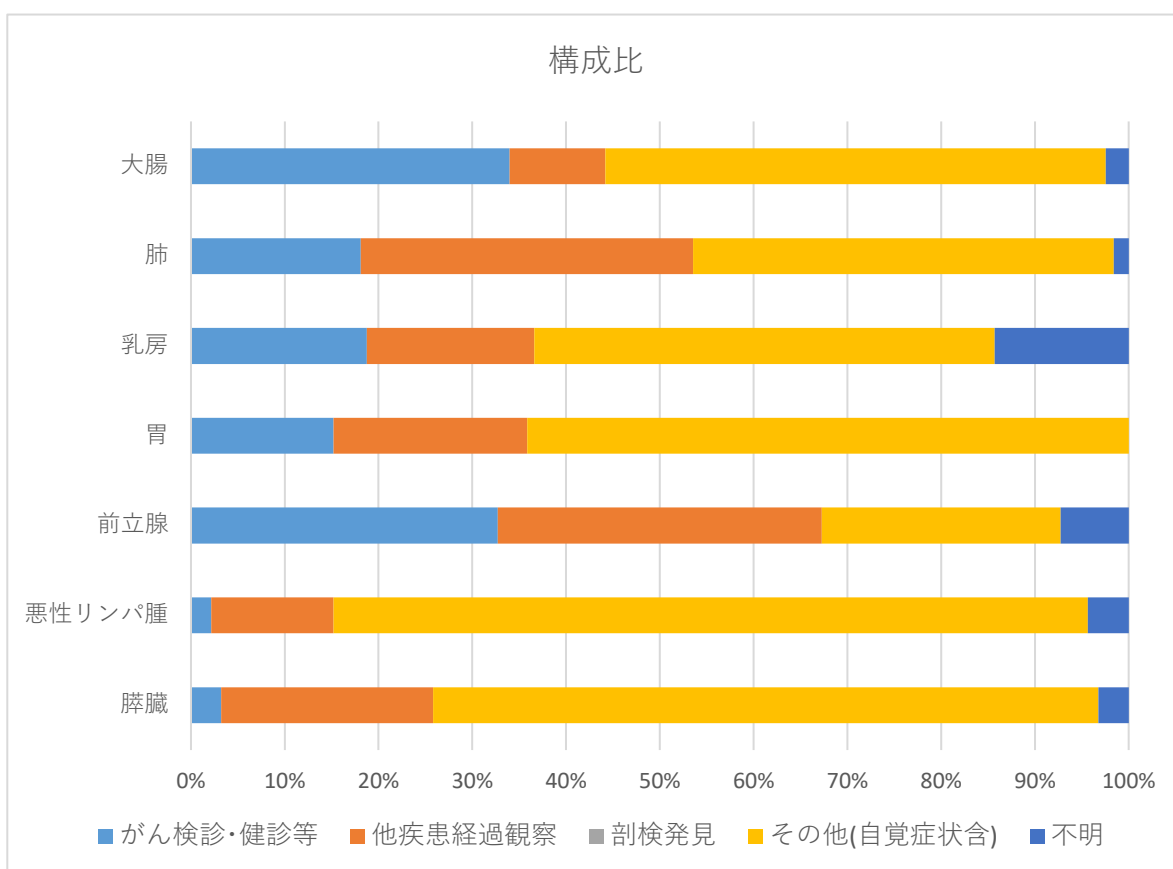
4. 部位別・発見経緯別登録件数（上位7部位）

当院で登録数が多い7部位について、発見経緯ごとの集計です。

がんが診断される発端となった状況を示します。

大腸癌・前立腺癌は、他と比べるとがん検診・健診等の割合が多くなっています。

	がん検診・健診等	他疾患経過観察	剖検発見	その他(自覚症状含)	不明	合計
大腸	70	21		110	5	206
肺	23	45		57	2	127
乳房	21	20		55	16	112
胃	14	19		59		92
前立腺	18	19		14	4	55
悪性リンパ腫	1	6		37	2	46
膵臓	1	7		22	1	31



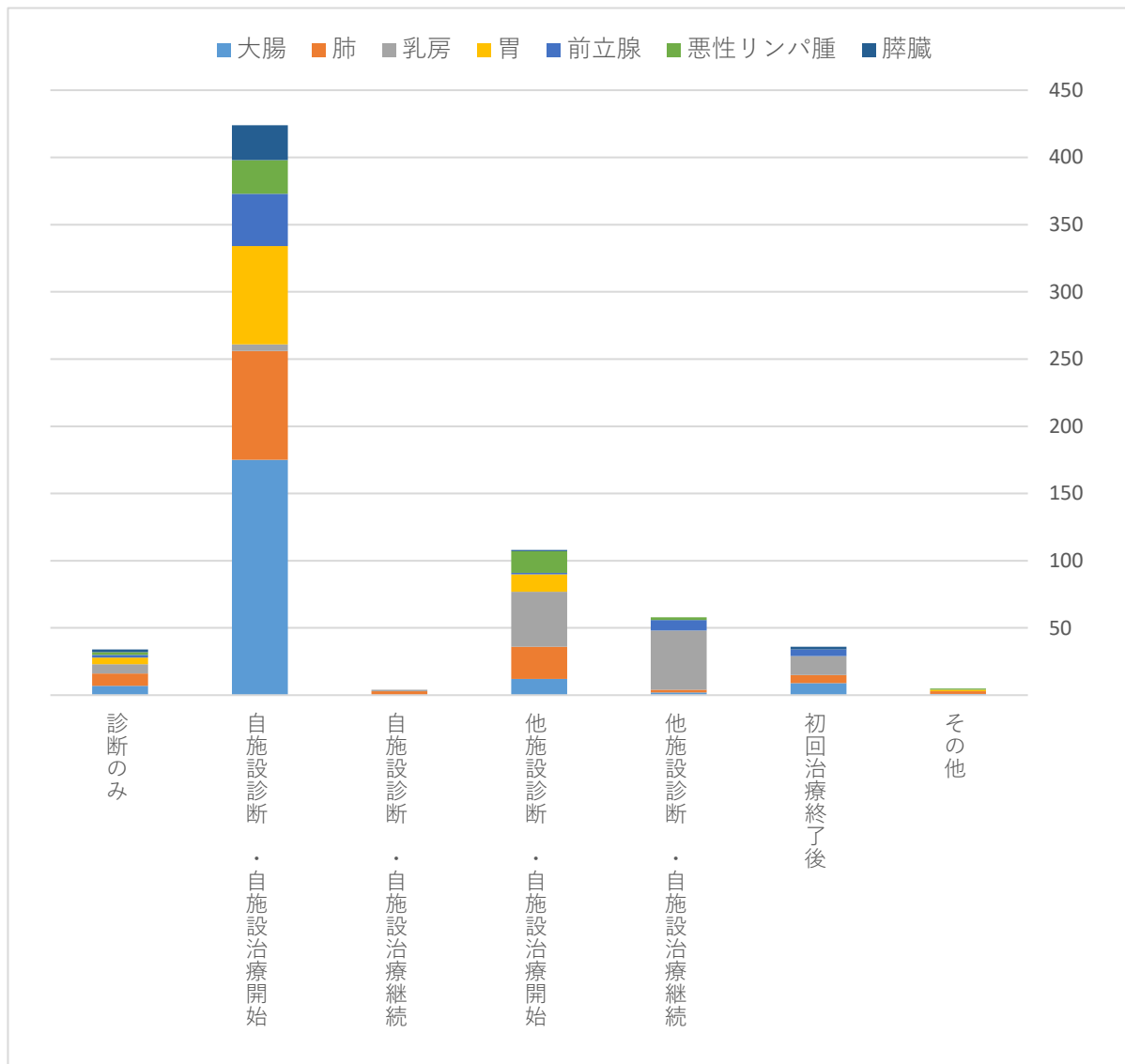
5. 部位別・症例区分別登録件数（上位7部位）

当院で登録数が多い7部位について、症例区分ごとの集計です。

当院のがん診療状況を示します。他施設には、だいでうクリニックを含みます。

最も登録数が多かったのは、当院で診断および治療を行った症例でした。

	診断のみ	自施設診断・ 自施設治療開始	自施設診断・ 自施設治療継続	他施設診断・ 自施設治療開始	他施設診断・ 自施設治療継続	初回治療 終了後	その他	合計
大腸	7	175		12	2	9	1	206
肺	9	81	3	24	2	6	2	127
乳房	7	5	1	41	44	14		112
胃	5	73		13			1	92
前立腺	2	39		1	8	5		55
悪性リンパ腫	2	25		16	2		1	46
膵臓	2	26		1		2		31



6. 部位別・初回治療法別登録件数（上位7部位）

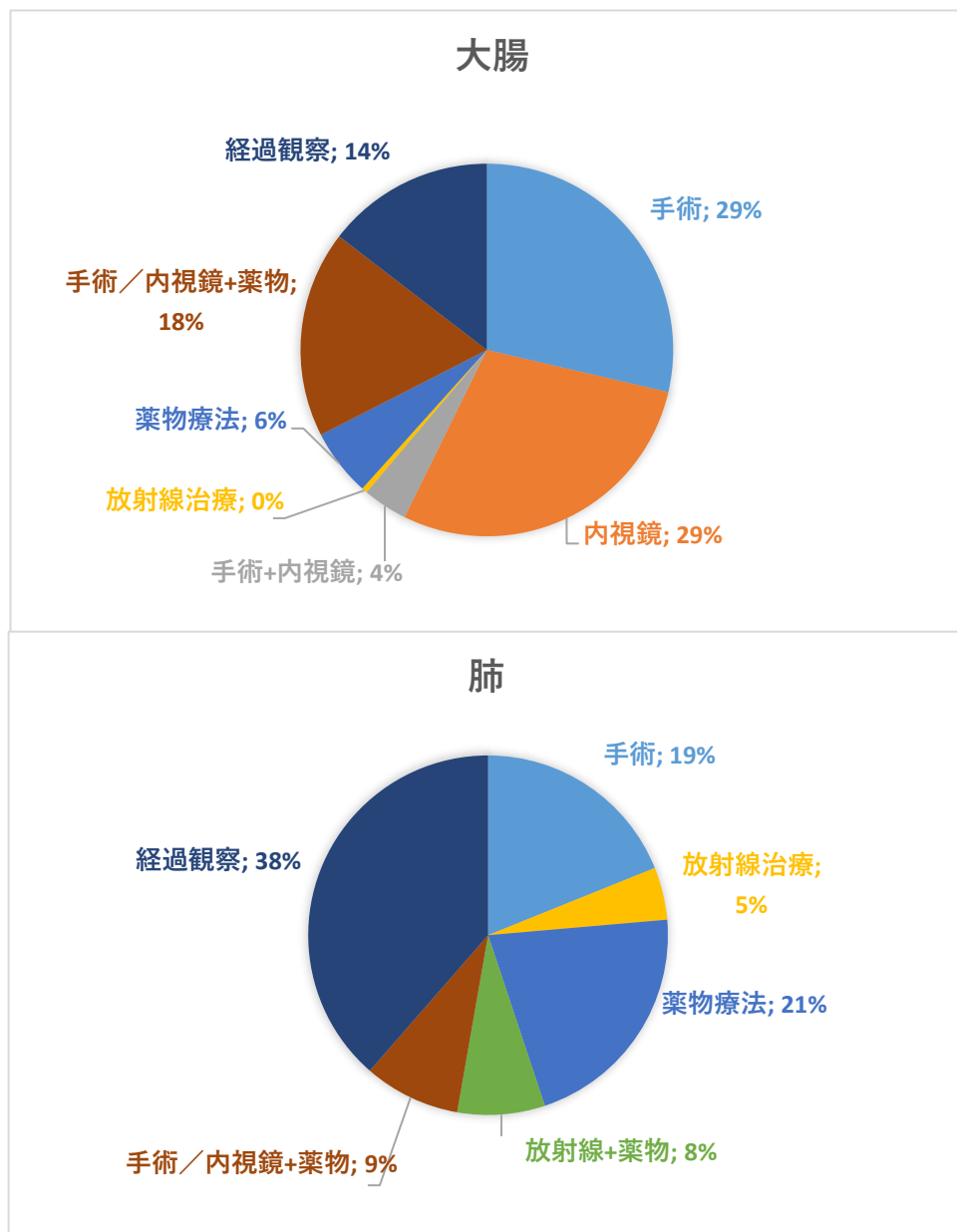
当院で登録数が多い7部位について、初回治療法ごとの集計です。

院内がん登録での初回治療とは、がんの診断後すぐに計画された一連の治療です。

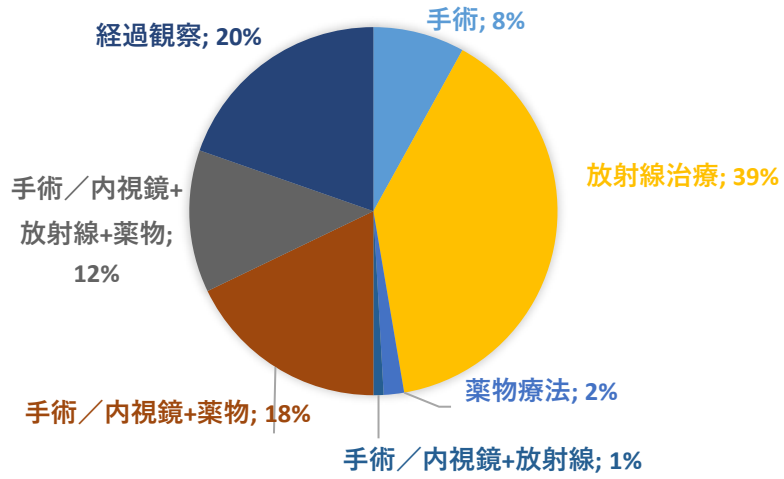
症状の進行により後に追加された治療等は含まれません。

	手術	内視鏡	手術+ 内視鏡	放射線 治療	薬物 療法	放射線+ 薬物	手術/ 内視鏡+ 放射線	手術/ 内視鏡+ 薬物	手術/ 内視鏡+ 放射線+ 薬物	ピロリ 菌除菌	経過観 察
大腸	59	59	8	1	12			37			30
肺	24			6	27	10		11			49
乳房	9			44	2		1	20	14		22
胃	28	21	6		3			18			16
前立腺	11			7	24	3		2			8
悪性リンパ腫	1			3	28	5		1		2	6
膵臓	3				5			8			15

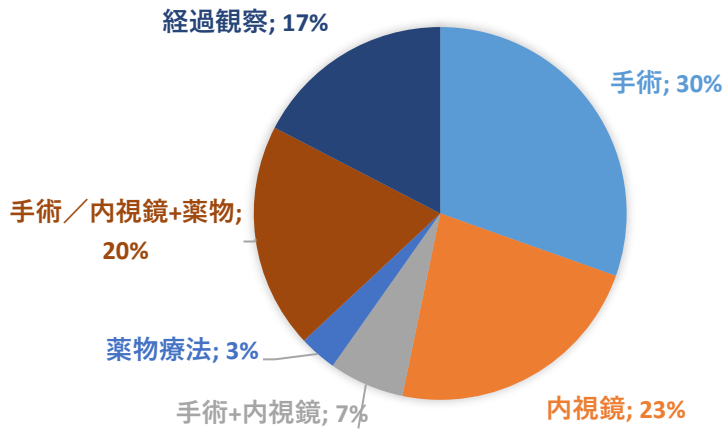
薬物療法：化学療法や内分泌療法



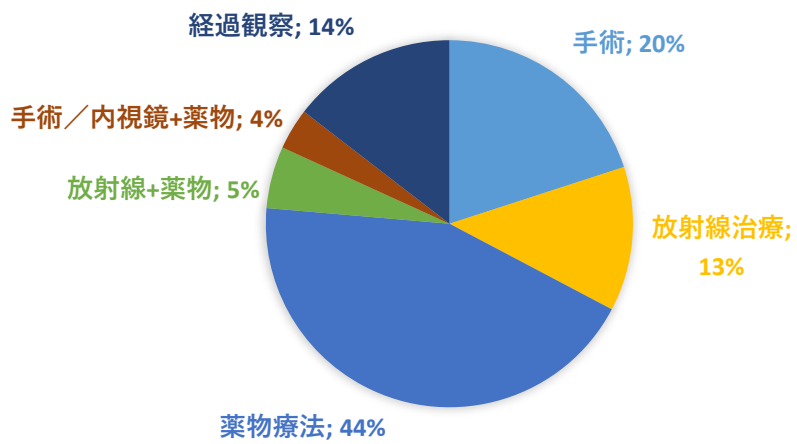
乳房



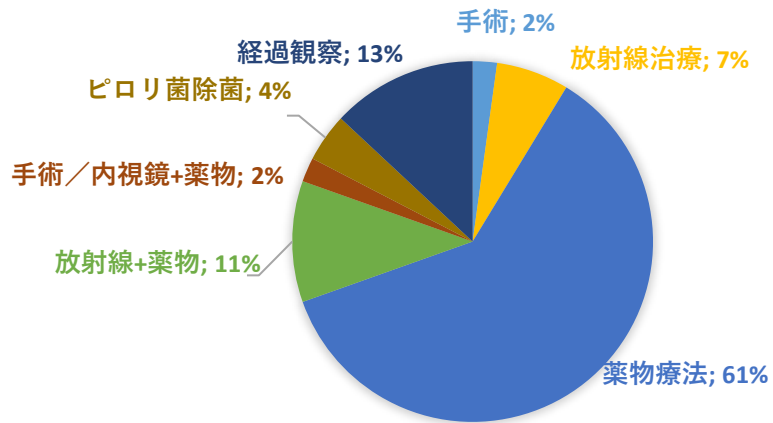
胃



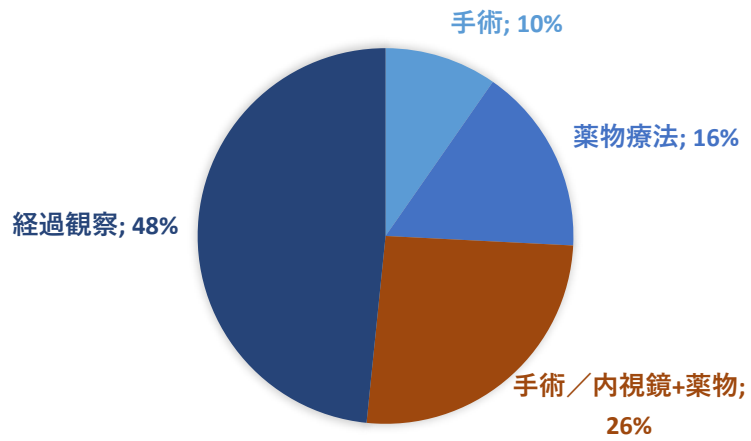
前列腺



悪性リンパ腫



膵臓



7. 部位別・臨床病期(UICC)別登録件数（5大がん+上位2部位）

わが国で罹患数が多い5大がん(胃・大腸・肝・肺・乳房)とそれ以外で当院で登録数が多い2部位について、治療前のステージごとの集計です。

ステージ分類は、UICC TNM分類(第7版)に準拠したルールで分類しています。

肺癌は他と比べると、IV期の割合が多くなっています。

	0期	I期	II期	III期	IV期	対象外	不明	合計
胃		49	14	12	13		4	92
大腸	43	48	43	35	26		11	206
肝臓		6	2	4			1	13
肺		39	6	27	51		4	127
乳房	8	36	34	14	5	3	12	112
前立腺		21	17	4	12		1	55
悪性リンパ腫		14	9	9	13		1	46

